

授業科目名 <英訳>		科学技術コミュニケーション演習(政策) Science, Technology and Communication Seminar			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 川上 浩司				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 通年不定	曜時限	その他	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<p>本講義は「政策のための科学」プログラムの必修科目の1つ（連携必修科目）である。「政策のための科学」プログラムにおける研究プロジェクトを進めるうえで必要となる、問いの立て方、仮説検証に関する方法論、プレゼンテーションスキルの習得等を目的とする。あわせて、受講生におけるディスカッションを通じて、研究に関する批判的考察能力を涵養する。</p>											
<b>[到達目標]</b>											
<p>科学技術を巡る社会的課題を各分野における分析のフレームワークで捉え、政策分析手法によって論理的に論じられることを到達目標とする。受講生におけるディスカッションによって、実践的に能力の習得を目指す。</p>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
<p>受講生は事前に発表等の準備を行うこと、また、ディスカッションには積極的に参加することを期待する。</p> <p><b>【予定・内容】</b> 前期・後期に渡り、以下15回を予定する。具体的な日程は、講義開始前に連絡予定。</p> <p>前期 第1回 オリエンテーション・講義概要 第2回～第3回 問いの立て方-議題検討 課題：「政策のための科学」において取り組む研究プロジェクトのテーマの建て方と絞り方を一緒に検討する。 第4回～第7回 先行研究のレビュー 課題：研究プロジェクトにおける先行研究の収集方法、分析法、そしてそのレビューとなるプレゼンを用意する。</p> <p>後期 第8回～第11回 科学的政策分析の手法 課題：研究プロジェクトで用いる論理と分析手法を確認し合う。 第12回～第15回 効果的なプレゼンテーション術 課題：研究の状況をパワーポイントにまとめ、発表の準備を行う</p>											
<b>[履修要件]</b>											
特になし											
----- 科学技術コミュニケーション演習(政策) (2)へ続く -----											

科学技術コミュニケーション演習(政策)(2)

**[成績評価の方法・観点及び達成度]**

中間(2-3回)の発表:計25%、期末発表:15%、  
毎回の出席と宿題提出:60%、と計算して評価する。  
なお、4回以上授業を欠席した場合、単位は認めない。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

(参考書)

**[授業外学習(予習・復習)等]**

特になし

**(その他(オフィスアワー等))**

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。